



No. 147

ごが 議会だより



みなかわ いふき
皆川 勇颯さん

🌻 いつもおいしい
ご飯をありがと
う。

🌻 大好きだよ！



むとう みお
武藤 美緒さん

🌻 遠足にママと行
って楽しかった
よ。

🌻 毎日笑顔で元気
にすくすくと大
きくなってね。



うえたけ さら
植竹 沙羅さん

🌻 ママのスープお
いしいよ。あり
がとう。

🌻 いつもマッサ
ジしてくれてあ
りがとう。



🌻 園児から

🌻 保護者から

- 平成30年第1回定例会
- 常任委員会・予算特別委員会
- ここが聞きたい一般質問
- 平成30年第1回臨時会
- 議会トピックス・議会の動き・編集後記

今回の表紙を飾るのは五霞幼稚園・
保育園の園児さん達です。



「議会だより」を
スマートフォンな
どで見ることがで
きます。

平成30年第1回定例会(3月)

平成30年度予算を可決

一般会計46億3,000万円 特別会計31億4,987万円

平成30年第1回定例会が、3月5日から16日までの12日間の会期で開催されました。

本定例会では、平成30年度各会計予算をはじめ、条例の制定・改正及び平成29年度一般会計・特別会計補正予算など34件の議案等が提出され、全て議案等が原案のとおり可決となりました。

会期中、総務文教委員会、経済建設委員会が開かれ、関連議案について審議されました。

また、3月9日、12日、13日の3日間にわたり予算特別委員会が開かれ、平成30年度の各会計予算について集中審議されました。



会計別予算規模

(単位:千円)

会計名		平成30年度 予算額	平成29年度 予算額	増減額	増減率 (%)	
一般会計		4,630,000	4,275,000	355,000	8.3	
特別 会計	国民健康保険特別会計	1,176,000	1,425,000	△249,000	△17.5	
	後期高齢者医療特別会計	175,000	155,000	20,000	12.9	
	介護保険事業特別会計	809,000	750,000	59,000	7.9	
	公共下水道事業特別会計	811,277	534,895	276,382	51.7	
	農業集落排水事業特別会計	178,598	181,052	△2,454	△1.4	
	小計	3,149,875	3,045,947	103,928	3.4	
合計		7,779,875	7,320,947	458,928	6.3	
水道 事業 会計	収 益	収 入	454,543	472,423	△17,880	△3.8
		支 出	454,543	472,195	△17,652	△3.7
	資 本	収 入	239,217	264,000	△24,783	△9.4
		支 出	368,603	496,251	△127,648	△25.7

平成30年第1回定例会では、2ページのほか下記のことが決定しました。

議案第1号	五霞町教育委員会委員の任命同意について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づく任命同意 ・小村隆宜氏(再任)
議案第2号 (総経)	五霞町債権管理条例 町の債権管理の適正化、町民負担の公平の確保及び財政運営に資することを目的として必要な事項を定める条例
議案第3号 (総)	五霞町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例 法律改正に伴う条例の制定
議案第4号 (総)	五霞町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律第9条第1項の規定に基づく準則を定める条例 緑地及び環境施設面積率の規定を緩和するため、条例で定める区域における敷地面積に対する割合を規定
議案第5号 (総)	五霞町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 職員の育児休業等を一部改正する人事院規則の公布に伴う条例の一部改正
議案第6号 (総)	五霞町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく条例の一部改正
議案第7号 (総)	五霞町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく条例の一部改正
議案第8号	五霞町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の特例に関する条例の一部を改正する条例 ・町長：前年度に引き続き月額給与の10%減額　・教育長：前年度に引き続き月額給与の5%減額（実施期間：平成30年4月1日から平成31年3月31日）
議案第9号 (総)	五霞町手数料徴収条例の一部を改正する条例 公函、地籍図又は地番集成図の写しを交付する際、A3サイズを超える場合の金額を追加。写し交付の際、枚数又は筆数のいずれか少ない数を件数とする定義を追加。
議案第10号 (総)	五霞町基金条例の一部を改正する条例 従来の「就学祝い金事業」を平成30年度新規事業「出産おめでとう事業」及び「入学祝い金事業」に組替えすることに伴う条例の一部改正
議案第11号 (総)	五霞町国民健康保険条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第12号 (総)	五霞町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第13号 (総)	五霞町介護保険条例の一部を改正する条例 介護保険法第117条の規定に基づく第7期介護保険事業計画策定及び介護保険料の見直しを実施したことに伴う条例の一部改正

議案第14号 ⑧	五霞町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第15号 ⑧	五霞町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第16号 ⑧	五霞町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 法律改正に伴う条例の一部改正
議案第17号 ⑧	五霞町福祉センター「ひばりの里」の指定管理者の指定について 指定管理者：五霞町社会福祉協議会 会長 染谷 森雄
議案第18号 ⑧	五霞町多目的集会センターの指定管理者の指定について 指定管理者：五霞町商工会 会長 福嶋 四郎
議案第19号 ⑧	町道の廃止について 廃止路線 町道1794号線（小手指地内） 延長65.9m 町道3463号線（江川・幸主地内） 延長380.2m
議案第20号 ⑧⑨	平成29年度五霞町一般会計補正予算（第6号） 歳入歳出それぞれ1億8,450万円を減額補正
議案第21号 ⑧	平成29年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ1億2,317万5千円を減額補正
議案第22号 ⑧	平成29年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ2,050万2千円を追加補正
議案第23号 ⑧	平成29年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出それぞれ25万円を減額補正
議案第24号 ⑧	平成29年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出それぞれ680万3千円を減額補正
議案第25号 ⑧	平成29年度五霞町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号） 歳入歳出それぞれ9万1千円を追加補正
議案第26号 ⑧	平成29年度五霞町水道事業会計補正予算（第3号） (収益的収入及び支出) 収入62万円の追加補正 支出84万8千円の追加補正 (資本的収入及び支出) 収入2,084万1千円の減額補正 支出2,100万円の減額補正
発議第1号	五霞町議会予算特別委員会の設置

⑧=総務文教委員会付託

⑨=経済建設委員会付託

※議案第27号から議案第33号については、新年度の各会計別予算となります。

常任委員会

Q & A

Q 町の債権（※下表参照）について、滞納者に対する債権の回収方法は。

A 督促状の送付、電話あるいは訪問、財産調査、最終的には差押えの処分を行っています。

Q 町道の路線廃止後、地先からの申請により払下げ等を行っているとのことであるが、

町の払下げ単価が高いという声も聞かれるので、検討していただきたい。

A 払下げの際には、町で定めている単価に基づいた金額を算定し、その金額において、申請者のご了解のもと、払下げに伴う所有権移転等の登記手続きを行い、払下げをしております。今後も適正単価で行ってまいります。

Q 「ごかりん号」の車内に企業の広告があるが、代替バスについても同じように広告料をいただくことを考えてみてはどうか。

A 町のコミュニティ交通である「ごかりん号」について

は、車内の広告を募集しまして、広告料として料金をいただいているところです。代替バスですが、朝日自動車（株）の管轄になりますので、現在は町で広告を募集して貼ることができない状況ですが、今後、調整を進めていきたいと思っております。

Q 第7期の介護保険料について、所得状況に応じて9段階ありますが、それぞれに該当する人数は把握しているか。

A 平成30年度の予測では、65歳以上の方は2,723人、うち第1段階302人、第2段階155人、第3段階142人、第4段階588人、第5段階（基準額）501人、第6段階414人、第7段階319人、第8段階147人、第9段階155人となっています。

※債権の分類

債権種別	主な債権名
強制徴収公債権	町県民税 法人町民税 固定資産税 軽自動車税 国民健康保険税 後期高齢者医療保険料 介護保険料 保育料 公共下水道使用料 など
非強制徴収公債権	農業集落排水事業使用料 など
私債権	住宅新築資金等貸付金 学校給食費保護者負担金 水道料金 など

予算特別委員会

Q & A

Q 特別会計に係る地方債残高について、近年ずっと減少傾向にあったが、新年度予算では微増している。今後の推移の見込みは。

A 水道施設の設備関係の老朽化に伴い、更新工事等が必要になった場合は起債を充当することで、将来的には増加傾向になると捉えています。

Q 歳入における自主財源が順調に増加してきているが、依存財源に頼ることなく、今後も順調に推移していく見込みでよいのか。

A 景気動向によっては、法人町民税などは下振れする場合があります。今後、安定財源の確保という観点から、新たな開発候補地の調整を行ってまいります。

Q 庁内の電算システム整備事業の中にインターネット仮想端末50台とあるが、説明を願いたい。

A 役場内のパソコンからは、

直接インターネットへアクセスができないようになっており、仮想的にインターネットが使用できるライセンスを50台分持っています。そのため、ウイルスがインターネット側にあっても影響を受けない仕組みとなっています。

Q 消費者生活相談窓口は月に1回の開設であるが、クーリングオフ等は間に合うのか。

A 専門の相談員による相談窓口は月に1回ですが、役場で相談を受けた場合は、県の消費者相談窓口へつなぐなど、早急に対応しています。

❑ 新規事業として、道の駅関連調査業務委託料の予算が計上された。道の駅ごかの今後のあり方について調査及び検討をするという説明であるが、専門業者に一切を委託してしまうのか。施設の利用者や生産者等の意見を入れることも必要ではないか。

Ⓐ 当然、入れるべきと考えています。一番のコンセプトは、消費者から見た道の駅ということで、従業員や生産者からの意見を聴く場を設け、反映させたい。また、委託業者は1社ではなく、施設面、運営面、財政面のそれぞれの分野で委託し、各々議論を交わしながら突合させていきます。

❑ 国民健康保険で、歯周病予防検診事業を新規に取り組むことになった理由は。

Ⓐ 歯周病が健康寿命に及ぼす影響が大きいこと、また、咀嚼そしやくによる認知症予防効果などにより、保険給付費の抑制を図るためです。最初の2年間は、全額県補助の対象になります。



❑ 介護保険事業の歳入予算で、保険料が前年度対比で21.1%増加している。平成30年度から保険料が1割ほ

ど増加することは承知しているが、それ以上の増加を見込んでいるのはなぜか。

Ⓐ 平成30年度に新たに65歳に到達する方の人数を200人と見込んでおり、第1号被保険者が増加いたします。また、平成30年度保険料は月額5,680円ですが、予算編成時には確定していなかったため、月額5,800円で試算しているためです。



❑ 本町の65歳以上の人口割合が、平成20年度末で20.7%であったものが、平成30年1月末には30.4%になったということは、この10年余りで約10%増加している。今後の推移をどのように捉えているか。

Ⓐ 第7期介護保険事業計画では、3年後の平成32年度には33.4%、団塊の世代が全て75歳以上になる平成37年度には37.7%に上昇するであろうと推計をしています。ただし、更なる少子化や若者の転出などがあった場合は、この割合が上昇する可能性も十分にあると認識しています。

❑ 学校教育の現況で、教職員による学力向上対策委員会を組織しているとあるが、これについて説明を願いたい。

Ⓐ 東西小学校、中学校の3

校の教職員でチームを組織して、学習指導の研究、学校行事、生徒指導、特別支援など、それぞれのチームに分かれて活動し、小・中一体となった学力向上に努めています。

❑ 宝くじ事業による行政区への助成は、備品購入や設置整備などモノに限定されているが、行政区で実施するイベント費用に充てられるなど、使い勝手の自由度を上げることはできないのか。

Ⓐ 宝くじ助成事業は、コミュニティ活動の充実・強化を図るため、その活動に直接必要な設備・備品等が助成対象になります。

❑ 町内全域の防犯灯をLED化するにあたり、リース事業を導入するとのことであるが、リースにするメリットは何か。

Ⓐ LED化を町が行った場合の工事に比べ、リース事業として工事を行ったほうが工事費を抑えることができます。また、一斉にLED化することで、環境にも優しくなり、電気料金も現在のおよそ半分になります。

❑ 空家対策事業で特定空家解体工事予算を計上しているが、どのような条件の場合に解体をするのか。

Ⓐ 基本的には、所有者が不確定で、著しく倒壊の危険がある家屋や、生活上衛生的に問題がある場合、空家等対策協議会に諮り、特定空家として認定された場合に、状況に応じて町が代執行という形で実施するものです。

伊藤 正子 議員



問 高齢者支援の現状について

答 互いに支え合うまちづくりを推進していく

町の人口が減り始める一方、高齢者の割合が急増し、地域も大きな変貌を遂げている。地域で支え合う健康で安心して生活できるまちづくり、住み慣れた地域で行政に支援していただき命を全うしたいとの要望に町はどのような支援を行っているのか。

問 高齢者の行動地域への足の確保として、ごかりん号、有償運送の利用状況は。

生活安全課長 ごかりん号は、高齢者割引「いばらきシニアカード」を使って、1日当たり10人が利用していることから、全体の利用者の24%が高齢者の方と捉えています。

健康福祉課長 65歳以上の有償運送利用者の平均年齢は82歳で、町外の病院・買物の利用が多く、9割を占めています。

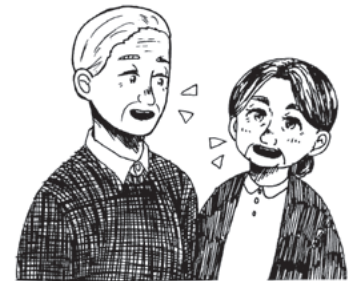
町長 行政・社会福祉協議会・地域住民・ボランティア団体が連携して互いに支え合うまちづくりを推進していきたい。

問 福祉・健康に関する「総合相談窓口」設置の趣旨は。

健康福祉課長 気軽に相談できる場所づくりの推進をしていくものです。多様化する地域福祉に関する相談に対し、適切な相

談対応が行えるよう社会福祉士などの専門職の雇用や関係機関などとの連携を深めていきたいと思えます。

町長 行政・社会福祉協議会・地域住民・ボランティア団体が連携して互いに支え合うまちづくりを推進していきたい。



問 介護保険制度運用状況について

答 住み慣れた地域で安心して生活ができるよう介護保険の充実に取り組んでいる

歴史上未経験の超高齢化社会に突入し、介護問題は国民の老後生活における最大の不安要因になっているが。

問 町の介護保険料の負担と推移は。

健康福祉課長 2000年に制度が発足し運用を開始しております。第7期（平成30年から32年）は5,680円で、第1期の1,700円と比較して3.3倍となっています。

問 第6期計画の重点目標、介護予防の成果は。

健康福祉課長 介護予防を目的とした「シルバーリハビリ体操」は、新規参加者が年々増えており、平成29年度は2月までに2,815名が参加されています。また、運動機能向上教室では、専門職によるリハビリを受け、改善がみられる方が顕著に現れています。

問 団塊の世代が高齢化していく現在、町はどのように介護保険制度に対応していくのか。

町長 いままで以上に介護サービスの需要増加が予想されますので、町全体で支える地域社会

づくりの実現を目指して取り組んでいきたい。





問 水道事業の現状と今後の対策について

答 広域連携の早期実現ができるよう県関係部局と連携し進めたい

町の水道事業における計画給水人口1万4,200人に対し、現在の町の人口は約8,500人と、5,700人も少ない。今後の運営に大きく影響するのでは。

問 給水人口、給水量の現状と予測は。

上下水道課長 給水人口は、平成6年の1万367人のピーク時に比べ、平成28年には8,612人と、約16.9%減少し、現在の給水日量は約5,500m³です。予測では、人口は減少していくものと推計していますが、圏央道IC周辺開発や新たな開発の可能性も期待されており、水需要は徐々に伸びると予測してい

ます。

問 水道施設の老朽化の現状と対策は。

上下水道課長 水道管の法定耐用年数は40年であり、古いものは35年が経過しています。更新設備の優先順位を検討しながら、水道水の安全と安定供給を図っていきます。

問 コスト面を考えると、埼玉県から受水した方が安い。埼玉県水と利根川取水量の割合は。

上下水道課長 総給水量のおよそ半分にあたる日量2,000m³程は埼玉県水を受水し、残りを利根川から取水しています。川妻浄水場で浄水処理を行い、配水

池で混合して給水しています。

問 水道事業の広域連携についての考えを伺う。

上下水道課長 施設を単独で持つより、複数の自治体や地域、県単位で保有するほうが、経営コスト面や人的にも有利であると考えられるので、県関係部局の指導・助言を受けながら進めてまいります。



問 危険生物の対策について

答 注意喚起の看板設置、万が一に備えて血清の準備を進めたい

町内において、多数の危険生物が目撃されている。昨年秋には、情報防災ステーションごかの女子トイレ内でマムシが見つかったとのことであるが。

問 町として、マムシの生息を確認しているか。

生活安全課長 利根川や江戸川河川敷周辺の草むら等で目撃情報があり、町内に生息していると認識しています。

問 マムシに噛まれてしまった場合の血清などの準備対応について伺う。

町長 血清について、現在は境町の茨城西南医療センターに保管されていますが、今後は町内の医療機関等にも公費で保管するよう準備を進めます。また、注意喚起の情報の提供をしていきます。

マムシの特徴

- ・春から秋にかけて活動
- ・河川の草むらや低木の多い傾斜地を好む
- ・体長は45～60cmと短い、胴回りは太め
- ・頭部が三角形
- ・体は灰褐色～暗褐色が多い
- ・背中に銭型の斑紋が並んでいる

噛まれてしまったら…

- ・傷口より心臓に近いほうを布などで縛る
- ・毒の回りを早くしないよう、安静にする
- ・傷口から血を絞り出すように毒を出す
- ・顕著な症状がなくても、必ず早期に病院を受診する！



問 国民健康保険の広域化、今後の見通しについて

答 平成32年度には基金がなくなり、税率見直しが必要になる見通し

県から34市町村で1人当たりの年間保険料が増えると示され、自治体は保険料の値上げか、一般会計からの繰り入れを増やすかの対応を求められます。県と町の役割、保険料の今後を問います。

問 国保事業費納付金、標準保険料率の考え方は。

町民税務課長 保険給付に必要な費用は、全額都道府県が市町村に交付します。県内の保険給付に必要な費用を算出し、国等からの収入を差し引き市町村に国保事業費納付金として割り当て、標準保険料率が示されます。

問 平成30年度の国保税は。

町民税務課長 現行税率を維持する予算編成を行いました。

問 激変緩和措置は。

町民税務課長 県は44億円を投入、町には444万3,000円の交付を見込んでいます。

問 一般会計からの繰り入れは。

町民税務課長 平成30年度予算で県内44市町村中、35市町村が一般会計からの繰り入れを予定しています。

問 国からの財政支援は。

町民税務課長 国は3,400億円を財政支援。1,700億円は低所得者対策へ、残りの1,700億円は財政調整機能強化で、保険者努力支援制度、基金積み立て等の財源として用意。

問 保険者努力支援制度とは。

町民税務課長 収納率の向上、データヘルス計画に対する実施

状況、第三者行為による求償事務、特定健診の受診率向上、保健指導受診率向上、糖尿病の重症化を予防する事業の実施、ジェネリック医薬品の普及増大等、さまざまなメニューが用意されています。収納率は既に高率で、これ以上は想定していません。

問 国保税の今後の見通しは。

町長 国民健康保険支払準備基金を活用しつつ、高齢者や低所得者層が多い国保の特殊な事情を勘案し、一般会計からの法定外繰り入れをしています。

健康寿命を延ばすことが、医療費抑制につながります。健康づくり、介護予防、検診受診の勧奨など、保健事業を推進して、住民の健康増進を図ってまいります。

国保税の軽減措置			
	7割軽減	5割軽減	2割軽減
構成比	21.90%	13.90%	12.00%

国保加入世帯の47.8%が何らかの軽減措置を受けている。

国保税の滞納ペナルティ(資格証明書、短期保険証の交付率)				
	茨城県	五霞町	最大	最少
資格証明書	0.80%	0.20%	4.20%	不交付7市町
短期保険証	7.80%	5.50%	16.80%	2.30%

五霞町は、いずれも県平均を下回った交付率(H29/6/1現在)

平成30年第1回臨時会が開催されました

副町長に田神文明氏を再任



4月4日に平成30年第1回臨時会が開催され、次の議案等が原案のとおり承認・同意されました。

承認第1号	専決処分の承認について（五霞町税条例等の一部を改正する条例） 地方税法等の改正に伴う条例の一部改正
承認第2号	専決処分の承認について（五霞町国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 地方税法等の改正に伴う条例の一部改正
議案第34号	五霞町副町長の選任の同意 地方自治法第162条の規定に基づく選任同意 氏名：田 神 文 明 氏（再任）

● 議会トピックス ●



町村議会議員自治研究会に参加

2月21日、茨城県内12町村で組織する町村議会議長会主催の研究会が水戸市の茨城県市町村会館において開催され、当町議会も参加をしました。

研究会は、スポーツライター・キャスターの青島健太氏による「スポーツが創る！地域の理想の未来像～東京2020と地域のレガシーを考える～」という演題で講演会の形式で行われました。青島氏は、この多様な価値観の中で、スポーツをどのように地域に広げて、そして、たくさんの人を巻き込めるか。また、トップに立つ者は、多様化を否定することなく、寛容が必要であると熱く語りました。

● 議会トピックス ●



経済建設委員会 | IC周辺開発工事現場を視察しました

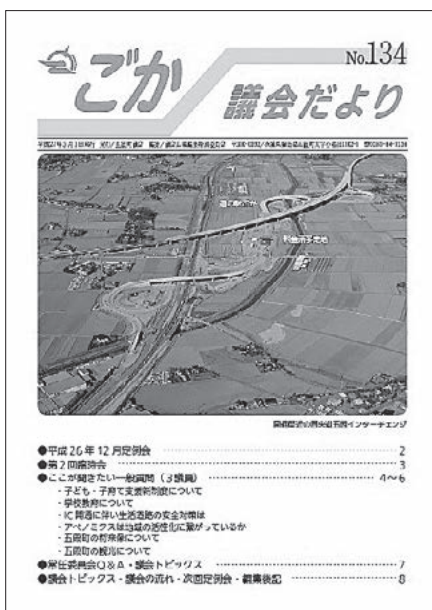
2月16日、経済建設委員会で、町内において整備が進められている五霞インターチェンジ周辺開発工事を視察しました。

当日は、清水建設㈱及びMK㈱（エムケー）の担当者から、現在の工事進捗状況や今後のスケジュールについて説明を受け、その後、整備をしている現場を視察しました。

視察終了後、各委員から質疑と要望を行いました。

議会だよりの変遷

議会の活動をお知らせする「ごか議会だよりの」、広報編集特別委員会では、わかりやすく読みやすい広報を目指してまいりました。ご意見やご要望を頂ければ、検討させていただきます、何なりとお寄せください。



平成27年3月1日発行

紙面は、創刊号から縦書きを採用し発行してきました。



平成28年6月1日発行

紙面を縦書きから横書きへ大幅にリニューアルし、表紙には子供たちの描いた絵が登場しました。



平成30年3月1日発行

子供たちのコメントが追加され、さらに親しみやすくなりました。

● 議会トピックス ●



学校給食を試食しました

3月14日、町内小・中学校で食べられている学校給食の試食会を行いました。

当日は、教育委員会学校給食の担当者から、給食の献立や使用食材の産地の説明があり、町議会議員と町執行部（町長・副町長・教育長）で給食を試食しました。

これからも栄養のバランスを考慮した、安心して安全な学校給食の提供をお願いしました。

献立

- ・うどん
- ・牛乳
- ・ちくわの天ぷら（2個）
- ・中華風野菜炒め
- ・わかめうどん汁
- ・焼きプリンタルト

わかりやすい議会 Q & A

Q：さしま環境管理事務組合にも議会があるの？

A：2市2町（坂東市、古河市、境町、五霞町）が経費を負担し合い運営をしているので、組合の予算等を議決するために議会が設置されています。

Q：誰が組合議員になるの？

A：2市2町の各議会で選挙をして選出します。五霞町からは3名の議員を選出しています。

Q：組合では何を共同でしているの？

A：ごみの処理やし尿の処理、火葬場の運営等のほか、管内にお住まいの方を対象にしたリサイクル教室やリサイクル自転車販売会などの、私たちの生活に身近な事業を行っています。

編集後記

編集委員 植竹美智雄

今年の桜は、あっという間に終わってしまいましたね。皆様は、お花見に行かれましたか。花見の場所ですが、やはり、幸手市の権現堂という方が多いと思いますが、町内にも花見ができる公園等もあります。来年は、町内の見どころを散策し、手作り弁当など持参して、家族や友達などとお出掛けされてはどうでしょうか。

町内の動きですが、インター周辺開発の中で、今年2月より稼働された企業もあり、より一層活気づいてきています。今年中に稼働が予定される企業もあり、今後も早急に企業等が決定されるよう協力していきたいと思っています。

議会の動き（3月～5月）

3月 5日	第1回定例会初日	3月 20日	議会全員協議会
3月 6日	総務文教委員会	4月 4日	議会運営委員会
3月 7日	経済建設委員会	〃	議会全員協議会
3月 9日	予算特別委員会	〃	第1回臨時会
3月 12日	予算特別委員会	4月 10日	広報編集特別委員会
3月 13日	予算特別委員会	4月 20日	議会全員協議会
3月 14日	一般質問	5月 7日	広報編集特別委員会
〃	議会運営委員会	5月 17日	広報編集特別委員会
〃	議会全員協議会	5月 25日	議会運営委員会
3月 16日	第1回定例会最終日	〃	議会全員協議会
3月 20日	議会運営委員会		

次回 定例会

6/8(金)～6/14(木)

傍聴してみませんか？

議場で開催される本会議は公開しています。
簡単な手続きで、どなたでも傍聴することができます。

一般質問は **6/12(火)・13(水)** 予定しています。

※詳しくは、議会事務局又は町公式ホームページでご確認ください。

広報編集特別委員会

委員長	大久保	帝	二
副委員長	高橋	宏	光
委員	新井		庫
	植竹	美智雄	
	樋下	周一郎	
	板橋	英治	